



明石市立江井島中学校
第3学年 進路・学年通信
NO. 12
平成30年4月24日(火)

心豊かな沖縄人と生きる喜びを共感しよう。。。

「沖縄ふれ愛感動体験」を知ろう!! (PART. 1)

2年生の3学期に沖縄の伝統・文化を学び実際に体験するという「沖縄ふれ愛感動体験」について説明し、自分が一番体験したい内容の予備調査をしました。その結果を報告したいと思います。

どの活動も最低20人程度ないと活動できないと言われています。「沖縄そば打ち＆そばだし作り」と「本格うたサンシン（三線）」は活動できない可能性があるので

よく考えて最終希望調査にのぞんで下さい。どの活動も沖縄の伝統・文化を体験できる活動ですが「サンシン」を弾く

とか、「沖縄そば」を打つなど、そこでしかできない活動なので、是非、多くの人が希望している活動の人は希望を変更して貴重な体験をしてほしいと思います。なお、最終希望調査で希望人数が最低活動できる人数にならなければ、個々に声をかけます。

【沖縄ふれ愛感動体験 希望予備調査の結果】

活動名	男子	女子	合計
パイン畑の見学とジャム作り	16	12	28
サトウキビ刈から黒糖作り	12	7	19
沖縄そば打ち＆そばだし作り（試食用）	10	7	17
漆喰シーサー作り	20	31	51
ピーチコーミングとマリンクラフト3点作り	9	24	33
本格うたサンシン（三線）	0	3	3



★「沖縄ふれ愛感動体験」について

前回と同じ活動を紹介します。もう一度しっかり読んで選んで下さい。

1. パイン畑の見学とジャム作り

☆パインのおいしい秘密を農家から学ぶ 【受け入れ人数: 45名】

沖縄の太陽をさんさんと浴びて育つパインは、糖度が高く果汁たっぷり。恩納村と宜野座村の畑では、今年もおいしいパインが実っています。初めてパイン畑を見る人は、その独特な実の付き方に驚くはずです。プログラムでは、収穫の楽しさだけでなく、知って得するパインのむき方やカットの仕方が学べるほか、ジャム作りが楽しめるコースもあります。

【体験者の感想】

畑から見えるきれいな海は最高でした。それ以上に、パインの説明をしてくれた農家のおじいちゃんの日焼けした優しい笑顔がとても印象に残っています。



2. サトウキビ刈から黒糖作り

☆キビ収穫で、さわやかな汗を流そう 【受け入れ人数: 80名】

沖縄らしい風景といえば赤瓦屋根とサトウキビ畑です。沖縄を代表する基幹作物サトウキビは、沖縄ではウージと呼ばれ古くから栽培がなされてきました。全長3メートルほどに成長した甘いキビは、地元の子供達にとって最高のおやつでした。さわやかな汗を流して収穫を終えたら、採れたてのサトウキビの皮をむいて竹の繊維みたいなキビをまるかじりしましょう。口いっぱいに広がる甘みは、とても幸せな気分になります。また黒砂糖作り体験で、できたてのおいしさを味わいましょう。



【体験者の感想】

サトウキビがどうしたら黒糖になるかなと思っていたら、おじさんが優しく教えてくれました。できたての黒糖はとてもおいしかったです。そして、収穫の大変さも実感することができました。